

SERVICE IMPROVEMENT PLAN

サービス改善計画

評価結果 | 2026年3月



事業所名

リハセンターかけはし



評価実施日

2026年3月



評価責任者

管理者 入谷 寿男

📌 評価の目的



サービス改善計画に基づく 実施状況と効果の確認

2025年4月1日付で策定した計画に対し、
これまでの取り組みを振り返り、
今後のサービス向上に活かすことを
目的としています。

🗨️ 評価方法

以下の3つの視点から情報を収集し、総合的に評価を行いました。



職員会議での確認

定期的な会議を通じて、各改善項目の取組状況や進捗を確認。



記録・連絡帳の確認

日常支援記録や連絡帳の内容から、具体的な支援の実態を確認。



意見・要望の把握

利用者様およびご家族様から寄せられた声やアンケート結果を収集。

2. 評価結果の概要



計画の実施と成果

本年度のサービス改善計画に基づく取組については、概ね計画どおり実施され、一定の改善効果が認められました。



継続的な課題

一方で、利用者の状態変化や個別性へのきめ細やかな対応については、引き続き継続的な見直しと改善が必要であることを確認しました。



次年度への反映

今回の評価で得られた知見を次年度計画へ反映し、サービスの質の更なる向上を図ります。

4. 項目別評価結果① | 利用者支援の質の向上

✓ 成果・実施内容

🗨️ 情報共有と声かけの工夫

職員間での連絡体制を強化し、利用者一人ひとりの特性に合わせた声かけを実践。チーム全体での意識統一が進みました。

🔗 日常支援の対応統一

排泄、移動、見守り等の日常的な支援手順をマニュアル化し共有。職員による対応のバラつきが解消されました。

♥️ 安心して過ごせる環境

対応の安定化により利用者の不安が軽減され、フロア全体が落ち着いた雰囲気となり、環境づくりの成果が見られました。

! 課題・今後の対応

👥 状態変化への迅速な対応

利用者の日々の体調やADLの変化に対し、支援内容の見直しをよりスピーディーに行う必要があります。

→ カンファレンスの頻度見直し

✍️ 記録への反映と周知徹底

変更した支援内容が、全職員（非常勤含む）に確実に伝わるよう、記録方法と伝達フローを再整備します。

→ 伝達ノートへのデジタル化検討



📌 継続的なPDCAサイクルの実施

4. 項目別評価結果② | 家族への情報提供の充実

リハセンターかけはし

✓ 成果・実施内容

積極的な情報発信の実施

-  送迎時の対話
その日の様子を直接伝達し、安心感を提供
-  連絡帳の活用
利用中の活動や体調変化を詳細に記録

💬 ご家族からの声

“

A様 「日中の様子が分かりやすくなった」

B様 「安心して通わせることができています」



📅 課題・今後の対応



提供方法の最適化

家族の状況や希望に応じ、
より適切な情報提供の方法を模索する必要があります。

➡ 具体的なアクション

- ☒ 連絡手段の再検討
-  タイミングの見直しと調整
-  フォーマットの継続検討

5 項目別評価結果③ | 職員の支援力・連携の強化



成果・実施内容

ACHIEVEMENT



情報共有と意見交換の活性化

定期的な職員会議や事例検討会を実施。個々の利用者に対する支援方針について活発な意見交換を行い、多角的な視点でのアプローチが可能となりました。



連携強化と共通認識の形成

職種間の垣根を超えた連携が強化されました。チーム全体で支援目標に対する共通認識（コンセンサス）を持ち、一貫性のあるサービス提供を実現しています。



課題・今後の対応

NEXT STEPS



階層別研修とOJTの継続

職員の経験年数や役割に応じたスキルアップ支援が引き続き必要です。個々のレベルに合わせた育成プログラムとOJTを継続的に実施します。



指導体制の明確化とレビュー

指導担当者を明確にし、定期的な振り返り（レビュー）を行うことで、教育効果の定着を図ります。フィードバックの質を高め、成長を支援します。

総合評価



一定の成果を確認

本サービス改善計画に基づく取組は、事業所全体として概ね計画通りに実施され、一定の成果を上げることができたと評価します。



利用者・家族本位の改善

利用者および家族の声を大切にしながら、継続的な自己評価と改善サイクル（PDCA）を回すことができました。

👍 評価区分：概ね達成

次年度に向けた課題と方針

01

支援内容の迅速な見直し

利用者の状態変化に即座に対応できる体制の強化と記録共有の徹底。

02

情報提供方法の工夫

家族の希望やライフスタイルに応じた、より分かりやすい伝達手段の検討。

03

職員研修の体系化

支援力向上を目的とした研修・事例検討を継続し、教育プログラムとして確立。

Action

これらを次年度サービス改善計画へ確実に反映します。





公表について

**本評価結果は、事業所ホームページに掲載し、
利用者および地域の皆様に公表いたします。**



事業運営の透明性を確保するとともに、
皆様から信頼される安心・安全な事業所運営を推進してまいります。